

予防避難エリア内(三崎地域)の住民避難における先導等訓練経路図

資料60



大分県警による先導・誘導



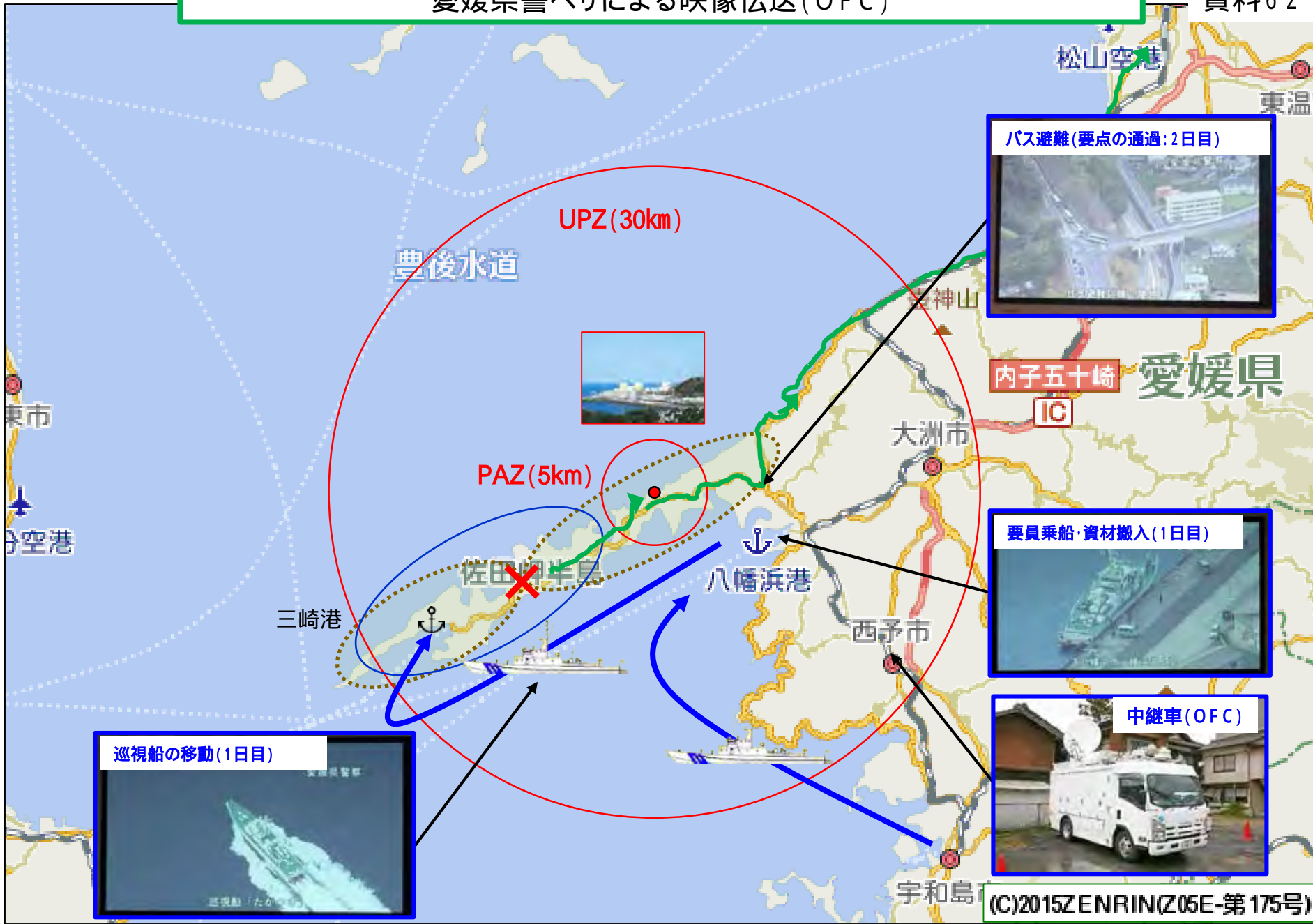
大分県警による先導(大在港)



大分県警による先導(国道197号)







カレンダー提供:
台湾行政院原子能委員会



カレンダー表紙

台湾には稼働中の原子力発電所が3ヶ所ある。それぞれのE P Z圏内(半径8 km)の住民、公共場所等に原子力防災に係るカレンダーを毎年配布して住民理解を促進させている。カレンダーの一部に原子力防災関連のページがある。

は、避難時等の「家屋毎の状況標示用紙」である。上左半分の青い標示は、【屋内退避中】で、上部右半分の赤い標示は、【要避難支援者在宅】の標示である。下部左右の同一黄色の標示は、避難済みの標示で、1枚は、【避難済み標示】として、家屋に標示する。残り1枚は避難車両に標示する。各家屋の避難状況等、避難車両か否かの識別に有益である。

は、避難ルートを示したもので、第1及び第2原発(近接して同じ市にオーバーラップするため)を中心に、避難ルート及び避難退域時検査所の場所が記載されている。また、下段の表は、第1及び第2原発の各E P Z圏内の学校の児童・生徒の学校及び一対一対応の避難先の学校が記載されている。

は、原子力防災に係る留意事項が記載されている。

日常使用するカレンダーに記載し、日頃から普及させることは理解促進に大いに役立つと考えられ、屋内退避の理解、避難時の物心両面の準備等も促進される



避難退域時検査所
(第1原発)

避難退域時検査所
(第2原発)

屋内退避中

自宅に要援護者
在宅の標示

避難中車両標示

避難済み標示
(家屋用)
左右同一

EPZ内の学校の
児童・生徒の避
難先の学校の表
(一対一対応)

家屋毎の状況標示用紙

避難ルート地図

原子力防災の7つの留意事項